

第54回水戸県体

七浦ではばたく
芦北郡

「七浦で競え はばたけ 水戸県体」をスローガンに、第54回熊本県民体育祭が水俣・芦北地区の2日間、県内20郡市の選手・関係者約7300人が参加して開かれた。公開3競技を含む26競技で熱戦が展開し、本町でもゲートボール、テニス、銃剣道の3競技が行われた。芦北郡は前回18位から7位へアップし大健闘を見せ、躍進賞を獲得した。



▲B&G体育館で行われた銃剣道。芦北郡は5位。

優勝を飾りました。水泳競技では、総合順位で3位、ボウリング競技でも3位入賞を果たしました。ベスト8入りしていた軟式野球にも期待が持たれましたが、あいにくの雨で中止となりました。雨で中止された競技は陸上競技を含む6競技で、得点によって、昨年の18位から7位に浮上し、躍進賞に輝きました。

全体の総合優勝は12年連続熊本市。芦北郡は、選手の大健闘によって、芦北郡の陸上競技の最終順位は7位でした。

選手・関係者の皆さんには期間中大変お疲れさまでした。

水戸県体



七浦で競え はばたけ



5月22日、水俣市の工コパーク水俣で開会式が開かれました。水俣市・芦北郡の各会場に分かれて熱戦の火がついたが切られました。本町では、総合グランドでゲートボール競技が開かれ、県内20郡市、男女合わせて40チーム（約300人）が参加。また、B>ennisコートでは、テニス競技が行われ、ラケットを持つボールを追いかける姿が見られました。テニス競技は3会場（他水俣市2会場）で行われ、本町では、郡市のチームが男女シングルス・ダブルスなどで技を競いました。

5月23日は雨に見舞われ、残

▲水俣市の工コパーク水俣で開会式に臨む芦北郡の選手団。気合いの入った入場行進は、表彰を受けました。

▶選手宣誓を行う宮嶋弘行さん（津奈木町染竹）と前島睦さん（水俣市）。

宮嶋さんは初日、水上競技の41歳以上800m予選に出場。1位で通過し、2日目はあいにくの雨で中止。残念でした。

がんばれ！ 町の消防団

毎年恒例となった町の消防点検。今年は4月29日「みどりの日」に開催された。全9分団、約200人が参加。総合グラウンドをメイン会場に日頃の訓練の成果が発揮された。

●消防点検放水訓練・規律訓練成績表

分 団 名	放水競技成績		規律審査順位
	ドラム缶までの最終タイム	順位	
第5分団	6'23"42	7	6
第6分団	6'37"08	8	1
第7分団	6'00"08	5	9
平国婦人分団	タイムオーバー	9	2
役場機動隊	6'01"42	6	3
第1分団	3'18"22	1	7
第2分団	3'36"06	2	8
第3分団	5'21"58	4	4
第4分団	4'22"01	3	5

▲分団名は、放水競技の競技順に掲載しています。放水競技は第1・2分団が3分台を記録し、昨年同様、優勝・準優勝を飾りました。規律審査では第6分団が4年ぶりに優勝に輝きました（前回平成7年優勝）。

4月29日、総合グラウンドで、津奈木町消防団全分団（9分団・諫山寅太郎団長）が参加して消防点検が行われました。ラバ隊の演奏にあわせて入場してきた団員たちは、柳迫勇蔵副団長の指揮の下、機敏な動作で点検に臨みました。今年は、25人の団員任命が行われたほか、表彰伝達式では消防隊長の指揮の下、訓練の成果を受けました。観閲では、通常点検の規律審査が行われ、各分団とも指揮者の下、訓練の成果を防衛長官表彰など7人が表彰を受けました。観閲では、通常点検に臨みました。

今年は、25人の団員任命が行われたほか、表彰伝達式では消防隊長が放水競技を披露。うま

くホースを握り、ボールが落ちると、訪れた観客からも歓声が上がっていました。男島公園沿いで行われた各分団による放水競技では、今年から競技時間が5分から7分に延長されたこともあり、ほとんどの分団が時間内に競技を收めています。各競技の上位の結果は次のとおりです。各分団の順位は左の成績表をご覧下さい。

◆規律審査の部

3位 第4分団	3位 第2分団	3位 第1分団
◆放水競技の部	◆放水競技の部	◆放水競技の部
優勝 第4分団	優勝 第2分団	優勝 第1分団
準優勝 平国婦人分団	準優勝 平国婦人分団	準優勝 平国婦人分団
3位 役場機動隊	3位 役場機動隊	3位 役場機動隊

本町では今年に入つて既に2件の火災が発生しています。ま

浜田益行さん、勲六等單光旭日章受章

この度、元津奈木町消防団副

団長浜田益行さん（67）（平

上）が、勲六等單光旭日章を受

章されました。浜田さんは昭和35年に消防団入団。戦後の消防

団と共に歩み、その豊富な知識と経験をもって、消防団の育成と強化に努められました。また、火災等の災害発生時には率先してその指揮にあたり、最小限に被害を食い止めるなど、その功

績が評価され、うれしい受章と

なりました。



page 3



▲西川町長の観閲を受ける第6分団。訓練の見せどころ。



▲平国婦人分団の制服が今年から新しくなったことに皆さん気づかれたでしょうか？これは、ふるさと消防団活性化助成金の補助を受け購入されたものです。制服の腕には事業名が刺繡されています。



page 2

